



おもいやい絵本製作プロジェクト

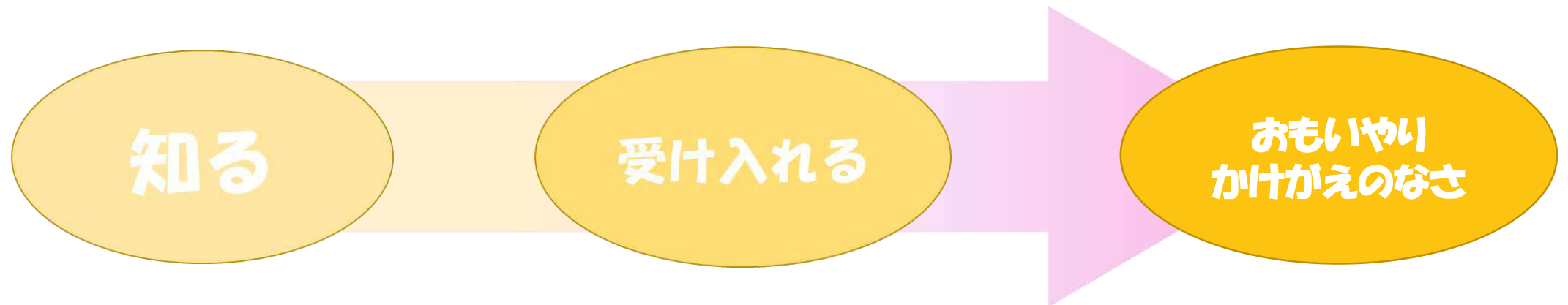
～絵本のおもいやいのこころを発信！～



目的

- ・ 他者に対する偏見や差別が問題視されている
→ 傷つけられる人を減らしたい

⇒ 絵本を通して他者の価値観を受け入れる考え方を広めていく



活動内容

- ・ 6月 ：採択
- ・ 7～9月：物語部分作成
- ・ 10～1月：イラスト部分作成
- ・ 1月 ：データ入稿、SNSアカウントの運営開始
- ・ 2～3月 ：アンケート、ポップ、ポスター制作、配送作業

絵本の表紙



実績

- ・ 約190か所に絵本、約30か所にPR用ポスターを配布

配布先：島根県内の公立図書館、

中四国・近畿地方の公立図書館、

団体構成員の出身校及び地元の図書館、

島根県立大学紀要を配布している学校・団体、

県内企業・団体（外部審査員の紹介）、

SNSからの注文者

- ・ 感想アンケートを実施



アンケートの回答

自分の思いと重ねながら読みました。私も、誰かと比べたり違うところを気にしたりしてしまうけど可愛い絵と物語と一緒に**みんな違ってみんないい**と感ずることができました。

絵も、文章も優しく、読みやすかったです。内容的にも、テーマである多様性ということは伝わってきましたが、**あまり押し付けがましくない**ので、そこも、よかったと思いました。

保育園の子どもたちにも読み聞かせを行いました・まめたがかわいかった・まめたがあきらめずにいろいろ挑戦してがんばっていたところがすごかった・まめたが泣いているところが悲しかった・最後ニコツってなったところがよかった・手のひらにのせていたのがかわいかったと、感想を伝えてくれ、子どもたちは『まめた』に感情移入している様子がよくわかりました きっと、この絵本が伝えたい気持ちは、**子どもたちが『まめた』になりきって絵本を見たことで心の中に伝わったこと**と思います。

参加してよかった点

- ・ 報連相の重要性を感じることができた
- ・ 電話をかける際や送付状等を書く際のマナーを知ることができた
- ・ 様々な方とのつながりが生まれた
- ・ 友達と一つの大きなことを成し遂げたという達成感が味わえた



反省点

- ・ 当初の予定のようには進めていくことができず、計画が後ろ倒しになってしまったこと
- ・ きちんとした確認を取らず発注してしまったために、様々な方に迷惑をかけたこと



絵本の反響

- ①大阪府立中央図書館からの追加依頼
- ②株式会社メリットさんのブログ・日刊LAZDAへの掲載、月刊LAZDAでの視聴者プレゼントとしての利用
- ③島根女性センターさんから「あすてらすフェスティバル」への前座としての出演依頼

今後の展望

- ①雲南石油商会さんの「雲石ブログ」に掲載
- ②株式会社さんびるさんの学童施設に訪問し、
絵本の読み聞かせを実施
⇒その様子を山陰中央新報さんに取材していただく
- ③SNSで絵本の読み聞かせ動画を発信
- ④クラウドファンディングに挑戦!!
⇒第2作目を製作(現在すでにプロット製作段階)